

標茶町立中茶安別小中学校の 「春の学校林活動」を支援

5月15日（木）、天候に恵まれたこの日、当ふれあいセンターは、標茶町立中茶安別小中学校の学校林において、恒例の「春の学校林活動」を支援しました。

活動場所の学校林（るんるんフォレスト）には、児童生徒25名の外、PTA、標茶町森林組合と多くの人が集まりました。

今回の活動は、・「実のなる木」の冬囲いはずし、・カラマツの補植作業の2つ。まずは冬囲いはずしから作業開始。これは、昨年10月の活動で行った冬囲いと、スモモ等の実のなる木をネズミの食害から守るために、木の根元に設置したペットボトルの撤去作業で、新芽の様子や食害がないか観察しながら行いました。

続いては補植作業。「るんるんフォレスト」には、平成23年の春に植栽したカラマツがありますが、その一部がネズミの食害を受け枯れてしまったため、枯れたカラマツを抜き取り、苗木を植える作業を行いました。

作業前には、当ふれあいセンター職員が、カラマツが北海道に導入された経緯等について説明を行い、児童やPTAなど参加者全員で補植作業を開始。PTAの皆さんの活躍で、予定より早く作業も進み、児童生徒会の代表からPTAや当センター職員など参加者にお礼の言葉があり活動を終了しました。



▽ 冬囲い撤去の様子



▽ 植穴を掘っている様子